

研究・調査報告書

報告書番号	担当
385	滋賀医科大学社会医学講座福祉保健医学部門
題名 (原題/訳) Binge drinking and violence against dating partners: the mediating effect of antisocial traits and behaviors in a multinational perspective. 大量飲酒とデート中のパートナーに対する暴力について:多国籍観点における反社会的特性や行為の媒介作用	
執筆者 Hines DA, Straus MA.	
掲載誌 (番号又は発行年月日) Aggress Behav. 2007 Sep-Oct;33(5):441-57.	
キーワード 親しいパートナーの暴力、飲酒、大量飲酒、反社会的特性、行為、多文化、性別による違い	
要 旨 背景： 多くの研究で飲酒とパートナーに対する暴力 (PV) に関連があることが示されている。しかし、この関連の文化や性別を超えた強さについてはあまり考察されていない。また、この関連に、問題飲酒を起こすような性格や状況がどのように関与するかについても、あまり評価されていない。	
方法： 本研究では世界中の 38 箇所の 7921 人の大学生を対象として、大量飲酒と PV の関連を評価し、反社会的性格と行為 (ASTB) の関与の度合いを研究した。	
結果： 大量飲酒と PV には有意な関連が見られた。その強さは地域により異なったが、性別では違いがなかった。ASTB を調整すると、この関連は認められなくなった。すなわち、飲酒と ASTB の強い相関が、飲酒と PV の関連を説明していると考えられた。各地域での大量飲酒の平均値は大量飲酒と PV の関連の強さに影響することはなかった。	